

平成22年度「自ら評価」案件候補のファクトシート作成等のスケジュール及び進捗状況について

- 第35回企画専門調査会の議論においてA（「自ら評価」の対象とすることのフィージビリティ（科学的知見・データの有無など）をさらに詳細に検討して整理するべきもの）と整理された危害要因に係るファクトシート作成等の実施スケジュール
 - 1 平成23年度調査事業の実施（平成23年6月2日、第384回食品安全委員会で承認）
 - 2 A-イ：ファクトシート作成とされたものを中心に、年内作成を目標とする。
 - 3 A-ハ、ニ：情報提供とされたものについては、年度内作成を目標とする。

A-イ：ファクトシート作成とされたもの（平成23年2月8日、第37回企画専門調査会）

ハザード名等	調査方法	備考
フッ素樹脂	H23年度調査対象	自主調査を基礎として活用
パーフルオロ化合物	H23年度調査対象	
本来的に食品に含まれる硝酸塩	H23年度調査対象	
食品に含まれる多環芳香族炭化水素(PAHs)	H23年度調査対象	
放射線照射食品	H23年度調査対象	
有機スズ化合物	自主調査	H16年度調査を基礎に再調査 H22年度調査事業の成果を活用

A-ハ、ニ：情報提供とされたもの（平成22年12月16日、第36回企画専門調査会）

ハザード名等	調査方法	備考
ラップフィルム	H23年度調査対象	自主調査を基礎として活用
クロム	H23年度調査対象	
シリコーン	H23年度調査対象	
ヒスタミン	H23年度調査対象	
ジビエ食材を介したヒトと動物の共通感染症	H23年度調査対象	
ダイオキシン類	自主調査	H22年度調査事業の成果を活用
カルバミン酸エチル	自主調査	
貝毒	自主調査	
フグ毒	自主調査	
キノコ毒	自主調査	

注) 平成23年2月17日、第367回食品安全委員会資料：ハザードの分類の考え方

A…「自ら評価」の対象とすることのフィージビリティ（科学的知見・データの有無など）をさらに詳細に検討して整理するべきもの

イ：引き続き自ら評価案件候補にするか否かを検討（平成23年2月の最終候補に残るもの）

ロ：情報収集（平成23年2月の最終候補に残らないもの）→参考参照

ハ：情報提供1（ “ ” ）

ニ：情報提供2（ “ ” ）

(参考)

A一口：情報収集とされたもの（平成22年12月16日、第36回企画専門調査会）

ハザード名等
イソチオシアネート
アカネ色素に含まれる成分
臭素系難燃剤
シガテラ毒
ピロリジジンアルカロイド
ミクロシスチン
アラキドン酸

注) 情報収集とされたものについては、引き続き自主的に情報収集を行うこととする。